

かがわ森林アドバイザー研修を開催しました

令和元年7月3日
香川森林管理事務所

1. 香川県では新たな森林管理システムに取り組む市町の実行体制を育成・支援するため、市町担当者への森林・林業行政の知識・技術に関する研修の実施と併せ、市町の森林・林業行政の支援を行う「かがわ森林アドバイザー」の育成、登録制度を創設したことに伴い、香川森林管理事務所に「森林整備請負事業の監督及び検査」についての、現地視察研修の依頼があり6月28日（金）五名活性化センターで講義、清水国有林4林班の請負生産現場において現地視察研修を実施しました。県や市町の林務担当者及びかがわ森林アドバイザーの研修生など総勢18名が参加しました。

2. 五名活性化センターでは、森林技術指導官が間伐による森林整備の方法、請負生産事業及び森林作業道について、並びにその監督・検査についての講義を実施しました。

3. その後、清水国有林4林班に移動し、切捨間伐の跡地を視察、続けて、搬出間伐跡地の列状間伐及び森林作業道の視察を行い、同程度の林齢の森林で、切捨間伐と搬出間伐にした森林の違いを検討し、具体的な森林作業道の規格・構造についても検討しました。最後に、森林技術指導官の操縦によりドローンを飛行させて、視察した列状間伐と作業道の状況を、上空より検査する方法の実演を行いました。

4. 参加者からは、「搬出先はどうなるのか」、「採材指導は具体的にどのような指導を行ったことがあるのか」、「収益の上がる森林と収益の上がらない森林の判断はどのようにしているのか」等の活発な意見が出され、高い関心と期待が伺われました。

5. 香川森林管理事務所では、今後とも、森林・林業行政における県や市町の支援を行い、地域と連携した取組や民有林支援を積極的に進めてまいります。



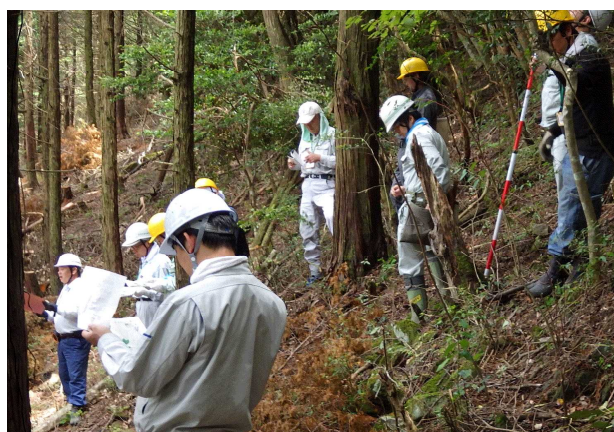
講義をする森林技術指導官



講義を聴く研修生



現地での説明



切捨間伐地での検討



列状間伐地での検討



ドローンの実演